

4 人が集い、にぎわいと活力のあるまちづくり



(1) 「にぎわいと活力」の創出

【現状・課題】

- ・浪速区は、古くから中小商工業地域として発展し、大阪経済の活性化に寄与してきました。また、生産性人口（15歳～64歳）が多く、「なんば」や「新世界」など観光スポットや集客施設のあるエリアは昼夜を問わずにぎわい、人が集まりやすい環境にあります。
- ・近年は、海外からの玄関口となる関西国際空港からのアクセスがよく、交通の利便性が高いことから、インバウンドが急増し、国内外から多くの人を訪れました。コロナ禍の影響は受けましたが「2025大阪・関西万博」を見据え、区内に大型都市型ホテルが建設されるなど、国内外から多くの人当区を訪れる機会が増え、今後更なる“にぎわい”が期待されます。また、令和7（2025）年は浪速区をより一層発展させる契機となる「浪速区制100周年」という節目の年でもあります。
- ・こういった当区が持つ強みや取り巻く環境を好機ととらえ、民間と連携してまちに「にぎわいと活力」をもたらす取組を進めていく必要があります。

【めざす状態】

区内外から多くの人が集い、「にぎわいと活力」のある状態

【施策展開の方向性】

▶ 民間との連携による「にぎわいと活力」の創出

民間と連携し、「なんば」や「新世界」などのエリアで区内外から集客が期待できる取組を推進します。

▶ 「まち魅力」の情報発信

浪速区のまちの魅力を区ホームページやSNS等により積極的に情報発信します。

▶ 地域まちづくりビジョンの推進

浪速区の魅力を向上させるため、「浪速区西南地域まちづくりビジョン」及び「新今宮駅北側まちづくりビジョン」の取組を地域団体や関係機関等と密に連携し、段階的に推進します。

▶ 「浪速区制100周年」に向けた取組の推進

浪速区が、魅力あふれるまちへと更なる発展をしていく契機として、令和7（2025）年に迎える「区制100周年」を記念する取組を推進します。

<アウトカム指標（成果目標）>

◆ 主な駅（難波駅、大国町駅、新今宮駅）の乗車人員 ➡ 前年度以上

※令和2年度「大阪府統計年鑑」より（1日あたり）

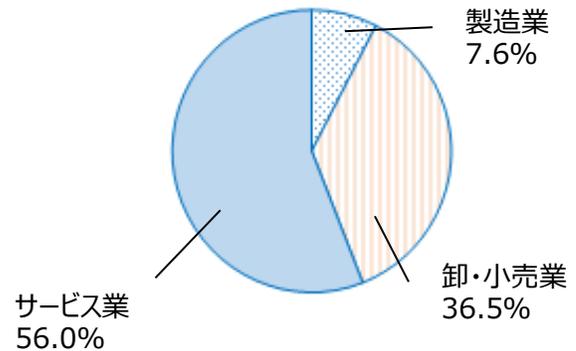
南海難波駅 108,088人、OsakaMetro 大国町駅 16,743人、南海新今宮駅 26,887人、JR 新今宮駅 66,288人

◆ 浪速区 Facebook 等 SNS 登録者数 ➡ 前年度以上 ※令和4（2022）年2月末：4,205人

* 浪速区の昼夜間人口比率（H27 国勢調査）
（上位5区）

	昼間人口	夜間人口	昼夜間人口比率
大阪市全体	3,543,449 人	2,691,185 人	131.7%
① 中央区	454,554 人	93,069 人	488.4%
② 北区	411,133 人	123,667 人	332.5%
③ 西区	176,835 人	92,430 人	191.3%
④ 天王寺区	120,107 人	75,729 人	158.6%
⑤ 浪速区	105,451 人	69,766 人	151.1%

* 浪速区の区内総生産（名目）の主要産業構成比
（大阪市 HP「大阪の経済 2021 年版」）



* 大型都市型ホテル

「OMO 7 大阪 by 星野リゾート」
（令和 4（2022）年 4 月開業予定）



「セントラランドホテル大阪（仮称）」
（令和 5（2023）年半ば開業予定）



* ホテル・旅館等の立地状況（上位5区）
（大阪市 HP「旅館業施設一覧」 令和 4（2022）年 1 月末現在）

	ホテル・旅館等
大阪市全体	1,700 カ所
① 中央区	482 カ所
② 北区	231 カ所
③ 浪速区	214 カ所
④ 西成区	149 カ所
⑤ 天王寺区	95 カ所

* 『浪速区観光ガイドブック（デジタルブック版）』や
「なにわ区をあるこう！ まちあるき MAP」の作成



* 「なにわの日」ロゴ



4 人が集い、にぎわいと活力のあるまちづくり



(2) 国際都市大阪への貢献

【 現状・課題 】

- ・浪速区は、外国人留学生が学ぶ専門学校や日本語学校、外国人住民のための学校などのほか、外国人住民の就労支援や暮らしをサポートする「YOLO BASE」が立地するなど国際色豊かな地域特性を有しています。
- ・浪速区の外国人住民の割合は24区で2番目に多く、外国人住民の増加率は約30%（24区中8位 ※H28.3比較）となっており、今後もその数は増えていくことが予想されます。外国人住民と地域住民との間で言語・文化・生活習慣の違いなどの様々な課題があるものの、日本語学校等に通う外国人留学生と地域住民がともに地域活動に参加するなど浪速区ならではの温かい交流も広がっています。
- ・「2025 大阪・関西万博」開催で大阪が国内外から注目され、人・モノ・情報が交流する拠点となることが期待されており、今後も多くの外国人の訪問が見込まれます。
- ・区民の国際化への意識を高め、外国人住民が安全・安心に暮らし、就業や起業できる環境を整え、外国人住民がもたらす多様性を、活力あふれるまちづくりや大阪の産業や経済の活性化につなげていく必要があります。

【 めざす状態 】

海外から多様な人材が集まり、就業や起業が進み、まちや地域が活性化している状態

【 施策展開の方向性 】

➤外国人住民の暮らしのサポート

外国人住民が安全・安心や利便性を享受し、快適に暮らすことができる生活環境を支援します。

➤交流の機会や場の提供

区内に住み学ぶ外国人住民とあらゆる世代での交流を促し、相互理解を深め多文化共生の地域づくりを進めるとともに、幅広い視野を持ち国際社会で活躍できる人材の創出を促します。

➤国際都市大阪の一翼を担うまちに向けて

経済団体や企業、関係機関等と連携して、外国人住民の就業や起業を促し、地域経済やまちの活性化、大阪の国際競争力の向上に寄与する取組を進めます。

<アウトカム指標（成果目標）>

- ◆外国人住民と接する機会が増えたと感じ、そのことを肯定的に評価する区政会議委員の割合

➡ 令和7(2025)年度までに80%以上（現状値なし）

* 外国人留学生が学ぶ専門学校や日本語学校、外国人住民のための学校

<学エール学園>

<学メリック学園 メリック日本語学校>

<学大阪中華学校>

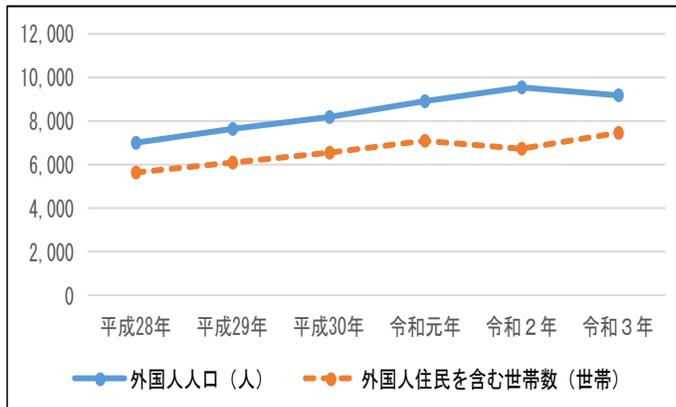


* 外国人住民の就労支援や暮らしをサポートする施設

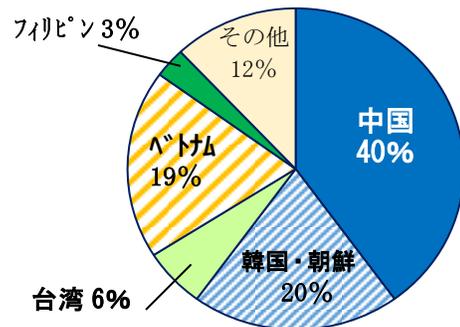
「YOLO BASE」



* 浪速区の外国人人口及び世帯数の推移
 (「住民基本台帳」各年3月末日現在)



* 浪速区における外国人住民国籍別人口
 (「住民基本台帳」令和3年3月末日現在)



* 外国人住民との交流事業

- ・外国人留学生と地域活動等とのマッチング
 (盆踊り、だんじり、餅つき、地域主催の学習支援事業等へのボランティア活動等)
- ・多文化共生イベント「YOLO 祭」開催支援



<「2025 大阪・関西万博」イメージ図>
 (提供：2025年日本国際博覧会協会)
 ※国内外から約2,820万人が来場(想定)